2026年11月6日

各　位

会　社　名　イ　ノ　バ　セ　ル　株　式　会　社
代 表 者 名　代表取締役 Co-CEO　ノビック・コーリン
代表取締役 Co-CEO　シーガー・ジェイソン
（コード番号：504A　東証グロース市場）
問 合 せ 先　取締役 CFO　細　野　恭　史
（https://innovacell.com/contact/）

スタートアップ専門オンラインメディア「Growthstock Pulse」

当社 Co-CEO インタビュー記事掲載のお知らせ

当社代表取締役 Co-CEO ノビック・コーリン及びシーガー・ジェイソンのインタビュー記事が日本やアジアのスタートアップの挑戦を伝えるオンラインメディア「Growthstock Pulse」に掲載されましたので、お知らせいたします。

本記事では、当社の前身であるオーストリア・インスブルック医科大学からスピンアウトした細胞治療ベンチャーの 25 年に渡る便失禁・尿失禁治療を目指した技術と製品の開発、そして日本に親会社を新設する三角合併を経て日本で株式を上場した背景と道のりについて、代表取締役 Co-CEO２人が自らの言葉で語った内容が前編・後編にわたって詳しく綴られています。日本語・英語の両方で公開されており、無料で閲覧いただけますので、ぜひご一読ください。

掲載記事（日本語）：

「助っ人の筋芽細胞を送り込む」――語られない疾患で 25 年、イノバセルはどう生き延びたのか - Growthstock Pulse（前編）

「烏合の衆に埋もれるより、井の中の蛙（かわず）に」――イノバセルが東証上場を選んだ理由 - Growthstock Pulse（後編）

なお、東京証券取引所（東証）が主導する「東証 アジア スタートアップ ハブ」のクロスボーダーIPO『トップインタビュー』のページにも本記事の要約版（日本語・英語）が掲載されています。

イノバセル株式会社 | トップインタビュー | クロスボーダーIPO | 日本取引所グループ（日本語）

Innovacell Inc. | Executive Interview | Cross-Border IPO | Japan Exchange Group（英語）

イノバセルについて

イノバセル株式会社は、欧州オーストリアのインスブルック医科大学からスピンアウトした再生医療企業の親会社として 2021 年に日本で設立され、2026 年 2 月に東京証券取引所グロース市場に上場しました（証券コード：504A）。

当社グループは細胞治療・再生医療の事業化を通じた人々の健康と QOL の向上を目指しており、現在、失禁（切迫性便失禁、漏出性便失禁、腹圧性尿失禁）を治療するための再生医療等製品の研究開発・事業化に取り組んでいます。当社グループは、これまでに欧州において ICEF15（ターゲット疾患：切迫性便失禁）と ICES13（ターゲット疾患：腹圧性尿失禁）の２つのパイプラインについて後期第 II 相試験を含む複数の臨床試験を完遂しています。詳しくはウェブサイト（https://innovacell.com/）または YouTube をご覧ください。

以　上